

- 1 2人の関係が可なり変化した。文章の中にも出てきたので、おもしろかった。  
・2人の息が通ってよかった。
- 2 せきおいたり、鼻をすすったりしておもしろかった。  
発音がとてもうまかった。シチュエーションもよかった。
- 3 1人1人の中で、ハートとどろぼうが描いてあるのがおもしろい。どろぼうの事、おもしろい。チームもあって、さびしい感じがした。

1 場面の設定がよかった。  
もういっしょに発音するともっとよい。  
チームワークがよかった。

「棒読みだったため、もうちょっと気持ちを込めて読んでほしい。」

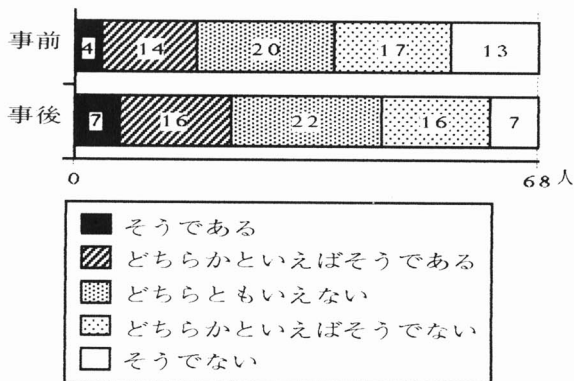
6 英語らしい発音でとても良かったけれど、もう少しゆくりと感情をこめるといいと思う

評価の際は、「いいところを見つけよう」とする姿勢が見られ、指導者の意図がよく理解されていた。⑤、⑥の感想に見られるように、発表者が次の学習の目標をもてるようなコメントは意義深い。

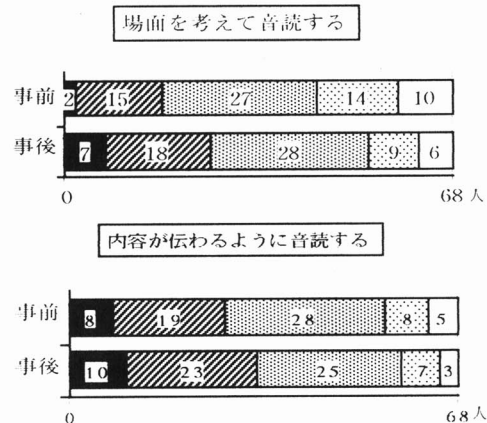
## 6 考察

授業の事前と事後に、生徒にいくつかの項目に関してアンケート調査をしているので、その変容について説明したい。

最初は、教科書の本文を読むときに「登場人物の気持ちになって読むか」という質問である。



「登場人物の気持ちになって読む」生徒の数が増えている。また、これに関連した次の2つの質問に対する生徒の回答は、次の通りである。



音読がめざすべき望ましい方向への変容が見取れる。また、生徒の感想からも、音読が表現力を育てるのに、有効であることを実感していることがわかる。

この活動は、場面や人間関係を設定するという性格上、対話文形式の題材において実施することが望ましい。単発的な指導に終わらず、継続して指導するためにも、活動に適した題材を選択し、年間指導計画への位置づけを図りたい。また、場面設定から、練習、発表までペアやグループでの活動が主になるので、リラックスして取り組めるクラスの雰囲気を大切にしたい。クラスルームイングリッシュの多用に心がけたり、話し合いの仕方や発表のしかたなど学習の約束事を徹底することにより、より大きい成果が期待できるであろう。

## 7 おわりに

生徒は一人一人個性的な発想や体験をもっているものである。それらをうまく引き出すにはそれなりの指導の工夫が必要である。打ち合わせのとき自分の発想を認められたうれしさ、発表のとき外向的な性格が役立ちみんなに評価された喜び、あるいは適切なアドバイスによって得た信頼感などがバネになって次の目標に向かって前進していくものと考えられる。